

L.A. STORY

WRITTEN BY STEVEN MEYER AND JOHN L. HEWITT
DIRECTED BY ANDREW HOUSTON
CASTING BY JUDITH M. WATSON
COSTUME DESIGNER JUDITH M. WATSON
PRODUCTION DESIGNER JUDITH M. WATSON
EXECUTIVE PRODUCERS JUDITH M. WATSON, JUDITH M. WATSON
PRODUCED BY JUDITH M. WATSON
DISTRIBUTED BY LUCASFILM LTD.

この街には、小意気な天使が住んでいる。

「好きだ」と言わずに、
愛を伝えられますか？

L.A. ストーリー

恋が降る街

スティーブ・マーティン/ピクトリア・テナント/リチャード・E・クラント/サラ・ジェシカ・パーカー/マリル・ヘナー
監督 ● ミック・ジャクソン/製作総指揮 ● マリル・ヘナー/スティーブ・マーティン/製作 ● タニエル・メルニック/マイケル・ラジニル/脚本 ● スティーブ・マーティン/音楽 ● ローター・メルニック/編集 ● リチャード・A・ハリス
アメリカ映画/カナルコ・タン・メルニック・インテラプロ・L.A.フィルム・プロダクション/ハイオニア・LDC提供/東宝東和配給

© 1991 LUCASFILM LTD.

L.A. STORY

R.U.O.K.

HUG ME

BEWARE CONDITION
KISS HER
YOU FOOL

“誰にでも、愛する人は必ず見つかる。そして…”

◆イントロダクション◆

ひとの、様々な恋のかたち。ハリスとサラの場合、それは偶然にすれ違うようにして始まった。流行のレストランに出入りし、華やかに暮らしながらも、心の中は寂しかった男と女。彼らを取り巻く、普通ではあり得ない、おとぎ話のような出来事。それは、いつしか、本当の恋になる――。

この「L.A. ストーリー/恋が降る街」は、大人のための、ファンタジックで限りなく優しいラブ・ストーリーである。監督・ミック・ジャクソンは、誰にでもあるただ一度の恋、その幸せな予感、そして迷いを、せつないほど美しい物語に作り上げた。主人公=L.A.に住む天気予報官、ハリスには「愛しのロクサーヌ」などのスティーブ・マーティン。彼の恋の相手・サラに「オール・オブ・ミー」のビクトリア・テナント、サラの前夫には「広告業界で成功する方法」の個性派、リチャード・E・グラント。

さらに音楽・エンヤの透明な歌声が全編を通して流れ、ファンタジックなムードをさらに盛りあげている。



L.A. ストーリー 恋が降る街

◆ストーリー◆

ハリス・テレマッカー（スティーブ・マーティン）はL.A.の天気予報官。にぎやかな話術で、明日の天気をきっぱり予想し、ファンを楽しませている。でも一方では、ガール・フレンドとの関係に行き詰まり、思うままの情熱に突っ走れない男でもあった。そんなある日、道路状況を知らせる《交通標識》が彼に向かって意思表示をし始める。他の誰にも気付かれないように。いや、彼にしかその不思議なメッセージは見えなかった。

“君の人生に転機が近づいている。そして、天気がその鍵となるだろう”

やがてハリスの前に、ロンドン・タイムスのジャーナリスト、インテリで物静かなサラ・マクドウェルという女性が現れる。

昨日の出来事も手伝ってか、運命的な出会いを感じたハリス。この人こそ、その思いはサラも同じだった。直感で互いが感じた愛はどンドン膨らむ一方。でも、恋愛に関しては、酸いも甘いもわきまえた大人同士。情熱をそのまま態度に表せない。一番近いところにいるのに、どうしても、どうしても自分の気持ちが言えない――。悩むハリスは、いつの間にか、あの交通標識の前に立っていた。やがて交通標識は、再び点灯しはじめた――。



近日・全国東宝洋画系ロードショー!

有楽町・マリオン前
ニュー東宝シネマ1 (3571)
1946